

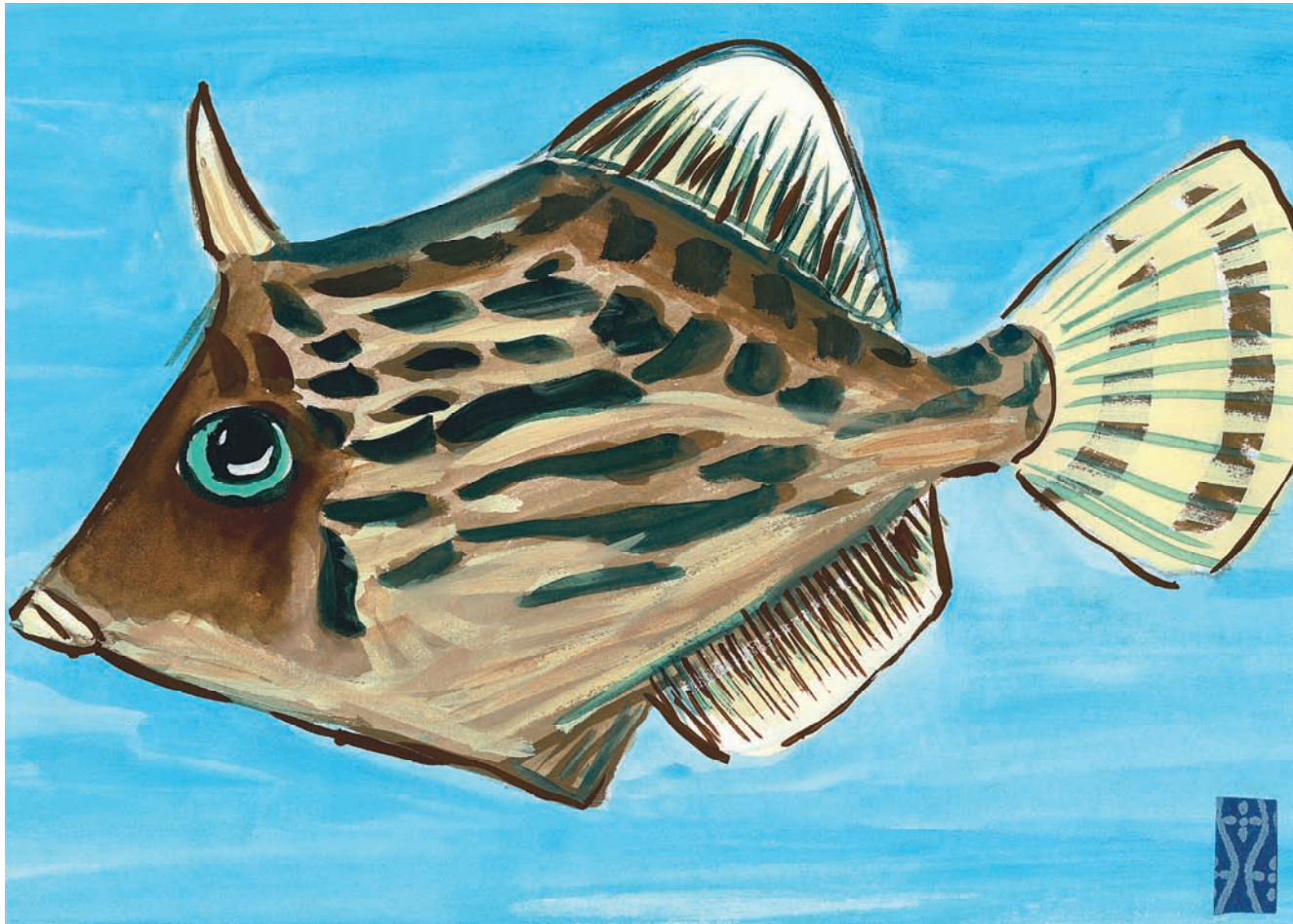
# 大阪府市場だより

第285号

(平成27年11月25日)

発行

大阪府中央卸売市場協会  
茨木市宮島1-1-1  
TEL (072) 636-3698  
FAX (072) 636-3699  
MAIL: 36983699@  
iaa.itkeeper.ne.jp



絵：「カワハギ」磯野 由美（磯丸運送）

## 市場開放デーの成功を報告！

### 定例常駐代表者会議

定例常駐代表者会議が11月19日9時30分から、管理棟4階会議室で開催された。山口議長（府水産物卸協同組合理事長）の挨拶の後、議事が進められた。

議題1、市場開放デーの開催結果について、事務局より、当日は3万人を超える来場者があり、大盛況であったことや主な来賓、そして「府政だより」などの広報の概要について説明があった。また、11月27日の第4回実行委員会で総括をすることが報告された。

議題2、管理センター（株）の宮前統括から報告があった。（2頁）山口議長から水産セリ場のクサリによる閉鎖は、前回会議で6時からと決定されたが、その頃はまだ荷捌き業務中であるので、何時ごろがいいかと諮られたところ、7時ごろで仲卸の社長さんの理解を得ていたことで了承された。次に、公道（青果大通り、小通り西側入口付近）の荷捌きについて、東野理事長から「危険であり、その都度社長や管理責任者に言っているが徹底されていない。荷捌き禁止看板を立てて処分するといった対応も考える必要がある」との指摘があった。山地場長から、「競争力強化研究会のテーマでもあり、その場で検討したい」との話があった。また、仲卸棟外側のコンクリート塗装について要請があった。三木社長から、各県連では荷捌きや待機場所を求めているとの指摘があった。また、駐車場についての要望があった。

議題3、量販店等へのトッププロモーションの実施について、菅野府次長から、大屋根テントやセリ場の改修などが実現したこの機会を捉えて、指定管理者導入により府市場が大きく変わったことをPRし、あわせて要望等を聞き、経営展望の見直しなど今後の取組みにいかしたいとの提案があった。山口議長から、「じっとしていたら何も始まらない。議論していただき、積極的に取り組んでもらいたい」と述べられ、了承された。次に、府の工事予定と市場の耐震工事が27年度で完了することが報告された。

議題4、「こだわり食材市場感謝セール」が12月23日に開催されること、田中府食品流通センター常務から報告された。（4頁）駐車場についても、個別に協力をお願いしたいと述べられた。

議題5、北冷の異社長から、関係の皆さんのご協力により、11月に入り年末商材等の入荷が順調な状況等が報告された。  
議題6、東野理事長から、市場開放デーの販売実績等が報告された。



# 食品衛生功労者知事表彰

大阪府では、食品衛生の普及・向上に尽力し、その功績が顕著な食品衛生功労者と食品衛生優良施設の知事表彰を、11月11日、クレオ大阪中央（大阪市天王寺区）で行った。

## 食品衛生功労者知事表彰

吉田 昭裕氏

吉田昭裕氏（59歳）＝株式会社大阪府食品流通センター総務課長は、平成2年以來、加工食品卸売場の食品衛生水準の向上に尽力された功績が認められたもの。  
食品衛生優良施設の知事表彰を受賞された施設（敬称略）

富士平川青果(株)

代表取締役 平川勝

北部山地食品(株)

代表取締役 山地義臣

有甚米店

代表取締役 安川愛子

## 「COM」街かほい「COM」Par

市場開放デー実行委員会会の榎本昭弘委員長は、11月2日にケールテレビJ・COMの同番組に出演し、開放デーをPR。また、開放デー当日も藤井



日菓子キヤスター」行の取材クルーが来場し、実行委員会の細田喜代司青果部総括責任者の案内で、その模様を取材し放送された。

# 市場開放デーが大盛況!!

大阪府中央卸売市場で、11月15日（日）の9時から12時まで市場開放デーが開催された。

当日は、前夜からの雨もやみ、行楽日和となった中での開催となった。8時30分から粗品が1千名の来場者に進呈されたが、8時前から多くの来場者が並ばれた。9時からの販売前には、お目当てのマグロ解体即売、うなぎの蒲焼、かになどの売場やスピードくじなどに長蛇の列が出来ていた。

オープニングセレモニーに先立ち、府立市岡高校の吹奏楽部55名編成の迫力ある演奏で、いやがうえにも盛り上がった8時55分には、大阪府中央卸売市場協会の三輪光幸理事長が「旬の野菜・果物、魚の

## 大掃除で来場者を歓迎



11月13日、開放デー来場者に気持ちよく楽しんでいただけるよう場内関係者総出で大掃除を行った。

## 管理センターからの報告(要旨)

宮前統括から次の項目について報告と審議事項の提示があった。

■活性化事業 □ハード事業 ○卸売3、4階トイレ改修(24か所) 【工期】青果卸棟A2、A4コア3階(4か所) 11/30を除き完成済 【事業費】1億3千万円(うち、21百万円府負担) ○近郷売場トイレ改修 【新規事業】 【工期】 H28/1/3

【事業費】未定(9百万円程度) ○青果Bブロック低圧幹線改修工事(府依頼事業) 【工期】 10/1(店舗上部清掃開始) H28/3下旬

【事業費】約71百万円 □ソフト事業 ○イオン市場直送セール(水産物)、四條畷11/8(日)

■改修事業 ○青果立体駐車場Bプ

焼きやキムチ鍋などの試食コーナーだったが、とりわけ青果若手によるMTMの会のスピードくじは、松茸・メロン・コシヒカリ・甘栗などが当たる空クジなしで、開始前から終了時間まで長蛇の列で大人気であった。

子どもたちには、大型魚や巨大カボチャの展示コーナーが人気で、こわごわ手で触って親子で写真に納まっていた。また、食品衛生検査所の手洗い体験コーナーでは親子で手洗い体験をする姿が多く見られた。

「食育コーナー」では、子どもたちを相手に、模擬せりや輪投げ、ダーツ、スパーボールなどの催しが追手門学院大学の学生により運営され、にぎやかな声に包まれ、最後まで大勢の子供たちに囲まれていた。

ロック改修工事(府依頼事業) 【事業費】約35百万円完成 ○水産せり場舗装改修工事(府依頼事業) 【工期】 1期 8/22、11/10、2期 H28/2/14 【事業費】約68百万円

■修繕事業 ○170件、69百万円(当初予算枠5千万円) ○水産買出人及び平面駐車場の舗装工事 【事業費】約22百万円完成 ○水産・青果卸棟A1、A4コア、工水・市水(配管・バルブ) 修繕工事完成 【事業費】約18百万円

■不法投棄の防止徹底 ○防犯カメラ設置により効果発揮(10月13日、対前年比1/3) ○投棄者の特定 ↓即警察へ通報、告発

■廃棄物排出量の抑制 ○前年比減少傾向

■そ族対策 ○そ族(クマノズミ)による青果物の喫食被害が深刻 ↓専門家による現場調査(被害箇所、侵入経路) 11/2、H28/1/31、3か月間(青果側) 引き続き水産エリア ↓対策の実施(来年度事業) ○殺鼠剤は使用しない ↓清掃、トラップ設置、ハード整備、衝撃波による撃退、事業費 6百万円/年程度

■市場流通状況調査 ○10/3(土)実施(調査票提出10/20) ・青果1社、水産5社未提出

■公道上(青果大通り、小通り西側入口付近)での荷崩し禁止看板の設置

■青果物窃盗未遂事件 11/17、2・10発生、検挙  
■水産セリ場のクサリによる閉鎖(審議) 11月24日(火) から実施 ↓前回会議において6時から決定したが、現実対応困難 ↓7時以降に繰り下げ実施する。11月24日から実施?



衛  
検  
だ  
よ  
り

牡蠣の安全調べます！

食品衛生検査所

秋も深まり、カキがおいしい季節になりました。カキはカキ目イタボガキ科の二枚貝で、代表的なのはマガキとイワガキです。

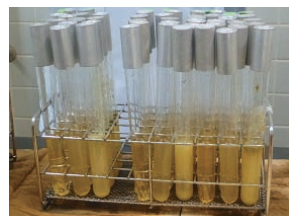


これから旬を迎えるマガキは、来年初夏の産卵期に向けて栄養を蓄えていき、年明け1月から3月に、ぽつりとしたクリーミーなカキになります。反対に産卵期が少し遅いイワガキは夏が旬となります。

潮の香りと奥深い味わいの愛好者も多く、冬の味覚ランキングにも登場するカキですが、意外なことに日本人が生でカキを食べるようになったのは、欧米の食文化が流入した明治時代以降なのだそう。

カキには、グリコーゲンをはじめビタミンBや亜鉛、銅、セレンといったミネラルが豊富に含まれています。栄養たっぷりのカキを安全に食べるために、生食用のカキには、成分規格、加工基準、保存基準が定められています。当所ではこの規格基準を確認するため、毎年11月から翌年の

3月まで、月1回生食用カキ10検体を収去し、5種類の細菌について検査を行っています。1回の検査で使用する試験管はおよそ350本、シャーレは250枚。これらを実験台に積み上げ、培養を重ねてその性質によって細菌の種類を判別し、数を算定します。



取去時には販売時の保存温度も確認しています。国の規格基準に合格した生カキは、安全に食べていただけるのですが、ここにつ落とし穴があります。この



規格基準は細菌のもので、ノロウイルスの項目がないので、

今年10月厚労省から、これまで検出例の少ない遺伝子型(GⅡ・17)のノロウイルスが流行する恐れがあると、注意喚起の通知が出されました。ノロウイルスは85℃1分以上の加熱で死滅しますが、生食をする限りリスクは回避できません。生カキを調理したあととはよく洗い、器具は塩素や熱湯で消毒し、食中毒の予防対策をしましょう。

第19回感謝セールの開催

大阪府中央卸売市場付設加工食品卸売場において、日頃のご愛顧に感謝して、12月23日(水・祝日)7時~14時に恒例の「感謝セール」が開催される。

当日は、10000円お買上げごとにスクラッチくじが1枚進呈される総額100万円の抽選会やお得な商品が当たるススピードくじが用意されている。また、お笑いタレントによる各店提供商品のチャリティオークション、マグロ解体即売会をはじめ、地元見山地区特産品の即売会、特設お買い得商品コーナー、寿司販売、各店の試食販売・飲食屋台の出店販売(ラーメン・たこ焼き)など楽しくお買物していただけるイベントが目白押し。



なお、当日に限り、阪急茨木市駅と市場間を無料シャトルバスが運行される。※お問合わせ先…加工食品卸売商業協同組合事務局072-163614118

恒例の献血を実施

府青果卸売協同組合(東野達雄理事長)では、献血をする若年層の減少に歯止めがかけられない方、高齢化が進み、平成27年以降、手術や治療に必要な血液が不足する恐れが出てきていると、恒例として春と秋に組合員等に呼びかけ、日赤献血に協



新着図書案内

力している。11月4日に行われた献血には74名の方から協力の申し出があった。若い人の献血が減っている中で、市場では多くの若い方にも協力いただいており、貴重な活動と日赤から感謝されている。次回は4月8日を予定しており、多くの方の参加を呼びかけている。

- ※大放言 百田 尚樹 著 新潮社
- ※下町口ケツ 池井戸 潤 著 小学館文庫
- ※アトランティド③ 山地 ひでのり 著 小学館

11月の計量器検査を実施

府市場協会が実施する計量器定期検査が同協会所属の信岡昭洋計量士によって、11月12日に卸売会社4社、北冷、三十三会の計量器に対して行われた。最大300キロまでの60台を検査した。なお年明けには、日程調整の上、2月に加工食品卸売場、3月に青果卸売店舗の検査を実施する予定。



卸売業者取扱高(平成27年10月) 大阪府中央卸売市場

卸売業種名	種類	数量(トン)	前年比%	金額(千円)	前年比%
青果	野菜	13,035	97.6	2,679,352	115.8
	果実	6,582	98.9	1,526,519	108.6
	小計	19,617	98.1	4,205,870	113.1
水産物	生鮮水産物	2,261	89.6	1,849,128	97.2
	冷凍水産物	328	89.2	345,878	87.1
	加工水産物	1,133	88.3	1,033,452	93.6
	冷凍食品	426	110.1	188,891	100.2
	小計	4,149	91.0	3,417,349	95.2
卸売業計		23,766	96.7	7,623,219	104.3

10月開場日数: 平成27年 23日/26年 24日